

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	小学校大規模改造工事等事業						新規		
コード	24	-	83	-	01	-	00	予算事業名	小学校大規模改造
担当部署	教育総務部	教育財務課			管理担当			予算事業コード	会計 10 款 10 項 02 目 03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務ではない
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	実施計画事業名	小学校大規模改造			
方向性(節)	2節	個性を生かす学校教育の推進	個別計画等の名称	川越市小中学校大規模改造計画			
施策	2	教育環境の整備・充実	当事業に関連する事務事業	なし			
細施策	1	学校施設の整備・充実					
事業実施の根拠となる法令・条例等	小学校設置基準						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	建物の耐久性の向上及び教育環境の改善が図れ、児童が安全で安心かつ快適に学校生活を過ごせるようになります。					
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	老朽化した学校施設の「耐久性の確保」「施設の機能改善」「教育環境の改善」を計画的に図るため、平成23年度に川越市小中学校大規模改造計画を策定した。当計画では、建築後30年を経過し、大規模改造工事が未実施の棟を対象としており、平成25年度から10年間の計画としている。					

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額				471,685	637,786	32,792
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A				8,700	481,620	650,578
人件費 B	0	0	0	2,568	5,870	11,006
総コスト(C=A+B)	0	0	0	11,268	487,490	661,584
正規職員(1年間の従事人数)				0.35人	0.80人	1.50人
臨時職員(1年間の従事人数)						
国県支出金 D					158,338	206,989
その他特定財源 E					303,100	437,100
市の財政負担(=C-D-E)	0	0	0	11,268	26,052	17,495

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果 大規模改造工事設計実施棟数	棟				3	6	27年度 17
指標の定義・説明	大規模改造工事を実施する為の工事設計を実施した棟数						
指標の定義・説明							年度
指標の定義・説明							年度
指標の定義・説明							年度
指標に基づく評価	平成23年度に策定した「川越市小中学校大規模改造計画」に基づき実施されている。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題			
川越市小中学校大規模改造計画では、34校86棟を対象とし、10年間での計画としているが、工事設計が行われていないと、大規模改造工事が実施できない。市の財政に影響をできる限り減少させるためには、国の補正予算や予備費など、優先的な補助金確保や起債充当率が有利な条件の下、工事を実施する必要があることから、できる限り多くの工事設計を実施したい。				
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)				
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	大規模改造工事の実施校を縮小することにより、建物の耐久性が損なわれるだけでなく、外壁の落下等による危険性が高まることや、漏水や雨漏り等による教育活動の制限がなされることとなる。加えて、学校施設は避難所という機能も有していることから、災害時に有効に活用できない事例が発生する可能性も考えられる。			

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				教育財務課	管理担当
事務事業名称		24	83	01	00	小学校大規模改造工事等事業	
今後3年間の方向性	25年度	拡充		川越市小中学校大規模改造計画に基づき、大規模改造工事及び大規模改造工事設計業務委託を実施いたします。			
	26年度	継続					
	27年度	継続					